



TOSOH

# 2015年度 第2四半期 決算説明会資料

東ソー株式会社  
2015年11月5日

## 2015年度 上期業績総括 【経営課題・当初業績予想】



TOSOH

### 経営課題

- ① 安全改革の推進
- ② コモディティ事業の収益改善
  - エチレン、電力を含めたビニル・チェーンの全体最適化
- ③ スペシャルティ事業の拡大
  - 既存スペシャルティの量的拡大と新規製品の上市

### 2015年度 当初業績予想（※2015年5月11日発表時点）

単位:億円

	売上高	営業利益		経常利益		当期純利益	
上期	3,950	280	7.1%	270	6.8%	180	4.6%
通期	8,100	670	8.3%	670	8.3%	430	5.3%

【参考】2014年度四半期別実績

単位:億円

	売上高	営業利益		経常利益		当期純利益	
第1四半期	1,781	51	2.9%	48	2.7%	22	1.2%
第2四半期	2,059	134	6.5%	166	8.1%	115	5.6%
上期	3,840	186	4.8%	213	5.5%	137	3.6%
第3四半期	2,058	153	7.4%	210	10.2%	387	18.8%
第4四半期	2,199	175	8.0%	179	8.1%	98	4.5%
下期	4,257	328	7.7%	389	9.1%	486	11.4%
通期	8,097	514	6.3%	602	7.4%	623	7.7%

# 2015年度 上期業績総括【前提・連結業績】



TOSOH

## 事業環境(前提)

	2015年度				2014年度		
	業績予想	4~6月実績	7~9月実績	上期実績	上期実績	下期実績	通期実績
国産ナフサ(円/KL)	53,000	48,800	47,200	48,000	70,400	56,500	63,450
為替(円/\$)	120.00	121.43	122.31	121.87	103.01	116.73	109.76
為替(円/ユーロ)	125.00	134.21	136.00	135.11	138.90	138.47	138.69

- 国産ナフサ価格は、当初前提に対し、2015年度第1Q・2Qともに下落
- 為替は、当初前提に対し、ドルはほぼ前提通りで、ユーロは円安で推移

## 2015年度上期 連結業績

	2015年度				予想比 ② - ①	2014年度	
	上期予想 ①	4~6月実績	7~9月実績	上期実績 ②		上期実績 ③	前年比 ② - ③
売上高	3,950	1,838	1,692	3,854	▲ 96	3,840	+ 15
営業利益	280	154	168	322	+ 42	186	+ 136
経常利益	270	178	148	326	+ 56	213	+ 113
当期純利益	180	114	80	194	+ 14	137	+ 57

(単位: 億円)

2

# 2015年度 上期業績総括【当初業績予想、前年同期比】



TOSOH

- 2015年度上期業績は、当初業績予想比で増益
- 2015年度上期業績は、2014年度実績比で増収・増益

### (1) 当初業績予想比

- ① 売上高は、下記の要因により減収
  - 為替相場が当初予想よりも円安に転じたことによる輸出価格の改善
  - 国産ナフサ価格が当初予想を下回ったことによる一部製品の減収
- ② 営業利益は交易条件の改善(主に機能商品、クロル・アルカリ)などにより増益
- ③ 経常利益、当期純利益は営業利益の改善により増益

### (2) 前年同期比

- ① 売上高は、下記の要因などにより増収
    - 機能商品を中心とした各セグメントの販売数量増
    - 国産ナフサ価格が前年比で大きく下回ったことによる一部製品の減収
  - ② 営業利益は、各セグメントの販売数量増や交易条件の改善(主にクロル・アルカリ、機能商品)などにより増益
  - ③ 経常利益、当期純利益は営業利益の改善により増益
- 公募増資を実施(2015年7月)

3

## 事業環境(前提)

	2015年度			2014年度		
	上期実績	下期新予想	通期新予想	上期実績	下期実績	通期実績
国産ナフサ(円/KL)	48,000	42,000	45,000	70,400	56,500	63,450
為替(円/\$)	121.87	120.00	120.94	103.01	116.73	109.76
為替(円/ユーロ)	135.11	130.00	132.55	138.90	138.47	138.69

## 2015年度 連結業績予想

(単位:億円)

	2015年度		予想比 ②-①	2014年度	前年比 ②-③
	通期予想 ① (15年5月11日発表)	通期予想 ② (15年10月30日発表)		通期実績 ③	
売上高	8,100	7,600	▲ 500	8,097	▲ 497
営業利益	670	710	+ 40	514	+ 196
経常利益	670	700	+ 30	602	+ 98
純利益	430	440	+ 10	623	▲ 183

- 2015年度通期業績予想は、営業利益・経常利益・当期純利益ともに上方修正
- 1株当たり配当金 中間7円 期末7円 合計14円 (中間・期末ともに2円の増配)

4

## 各セグメントの取り組み

5

## 2015年度の主な取り組み

### ● VCM(塩化ビニルモノマー)

- 南陽・四日市両事業所合わせ、ほぼフル稼働(下期、同稼働を計画)
- 第三VCM増強により、国内外PVC製造販売会社へ安定供給が可能

### ● PVC(塩化ビニル樹脂)

- 当社VCMの安定供給による収益改善および国内外への拡販
- アセチレンカーバイド法との相対的な競争力が上昇
- インド向けの輸出が好調

### ● カセイソーダ

- 両事業所合わせ、電解設備は約90%稼働(下期、同稼働を計画)
- 電解稼働上昇による生産増量分は輸出を中心に拡販

### ● 売電

- 中国電力への電力供給を継続

<参考>

単位:万トン/年		単位:万トン/年	
	生産能力		生産能力
カセイソーダ	126	大洋塩ビ	57
VCM	110	ペースト塩ビ	3
PVC	113	東曹広州	22
能増効果		PRII	10
・カセイソーダ 販売増26万トン		スタマー	9
・VCMとPVCがバランス、		徳山積水	12
PVCの販売増20万トン		PVC 計	113

6

## 2015年度の主な取り組み

### ● イソシアネート

- MDI(ウレタン原料)は、ほぼフル稼働(下期、約90%稼働を計画)
- フル生産の中、高付加価値製品へのシフト加速  
「汎用品」から「特殊品」、「MDI単品販売」から「ポリオールとのシステム販売」へ
- 中国以外のアジア、中東への販売促進
- 市況、原料、為替に的確に対応し、収益重視の販売

### ● 機能性ウレタン

- 既存製品の拡販・事業強化と新規品開発を推進
- 医療分野で使用されるシール材などの拡販
- HDI(自動車、船舶などの無黄変塗料硬化剤)事業の基盤強化



7

## 2015年度の主な取り組み

### ● オレフィン事業

- 常に業界平均を上回るナフサクラッカー高稼働維持を計画(上期約95%、下期ほぼフル)
- キュメンプラントもフル稼働を継続
- 原料コストに適正なスプレッドを乗せた各留分の価格体系構築とその利幅拡大
- より競争力あるエチレン、ベンゼンの安定調達の追求

### ● ポリマー事業

- PE(ポリエチレン)は、ほぼフル稼働(下期、約90%稼働を計画)
- PEの高付加価値化を推進、特殊品比率の上昇を図る  
【PE】食品分野、メディカル分野などに向けた高機能化・特殊化グレードの拡販  
顧客要求の厳しい分野で、ユーザーニーズに適応
- 超高分子量ポリエチレンの事業化
- 機能性ポリマー製品(PPS樹脂、合成ゴム[CR・CSM]、ペースト塩ビ、石油樹脂)の高機能化・特殊化グレードの拡販に注力
  - 【PPS】金属接合用グレード など
  - 【CR】硫黄変性グレード、金型非汚染改良グレード など

# 機能商品セグメント



## バイオサイエンス事業

### <計測分野>

高速液体クロマトグラフィー  
カラム  
分離精製剤

### <診断液クロ分野>

糖尿病検査機器

### <免疫検査分野>

免疫検査機器  
体外診断薬

### <遺伝子検査分野>

遺伝子検査機器



## 有機化成品事業

### アミン

臭素・難燃剤

環境薬剤



## 高機能材料事業

ジルコニア

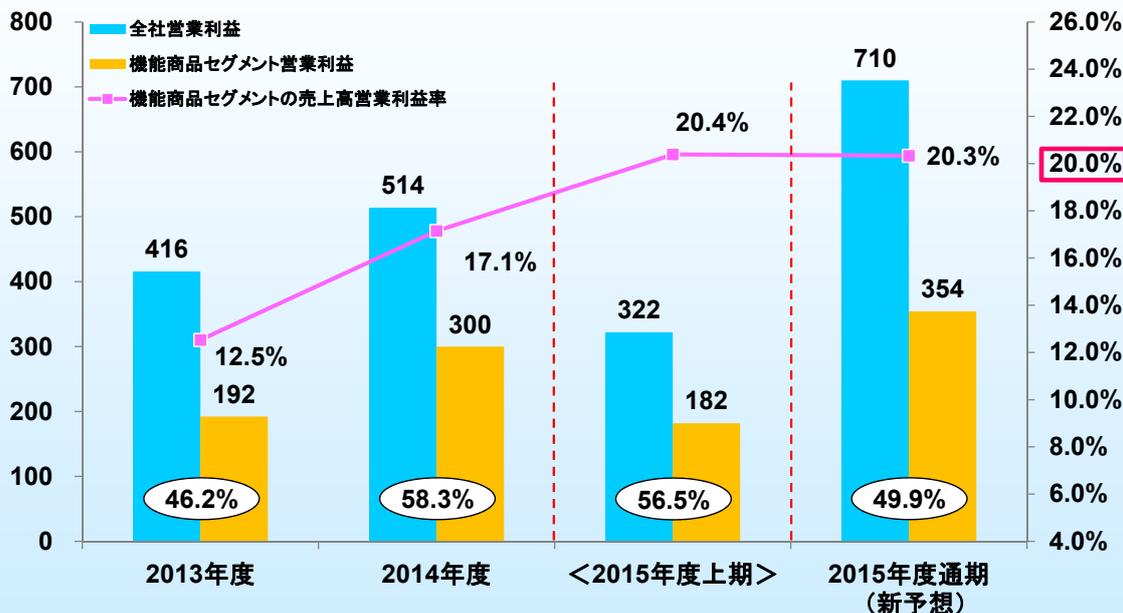
合成ゼオライト

マンガン酸化物

石英ガラス

スパッタリングターゲット

## スペシャリティ事業の拡大



※ 機能商品セグメントの全社における売上高割合は約20%

※ ○%内は全社利益における機能商品セグメント利益の割合

# 機能商品セグメント (バイオサイエンス事業)

## 2015年度の主な取り組み

### ● バイオサイエンス事業

- 国内外への拡販推進
- 次期分析・検査機器の開発、上市

### ● 計測分野

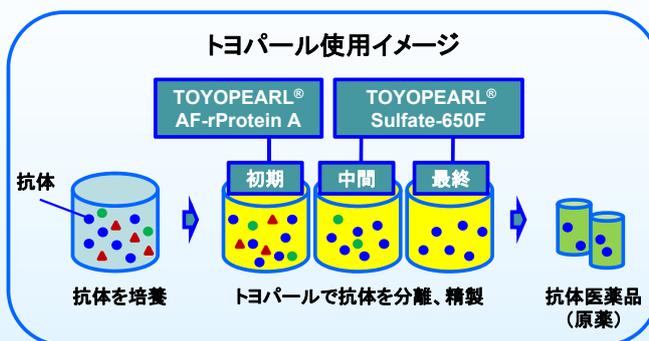
- バイオ医薬品関連市場向け製品(カラム、分離精製剤)の新グレード開発、上市

【2015年度の新規グレード】

TOYOPEARL® Sulfate-650F(2015年10月販売開始) など

### ● 診断分野

- 免疫検査機器(AIA®シリーズ)の新機種、新規試薬の開発、上市
- 東ソー・エイアイエイ株式会社にて、酵素免疫測定試薬製造設備を増設
  - ・生産能力:約30%増(現有能力比)
  - ・完工予定:2016年10月
- Lilac Medicare Private Limited.社を買収(2015年4月)
  - ・インド診断分野市場の拡販

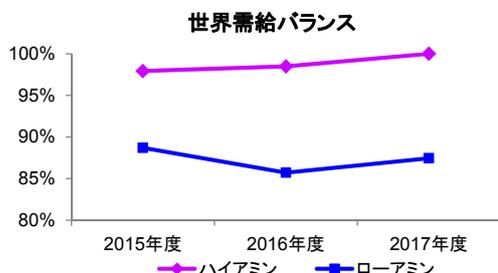


## 2015年度の主な取り組み

### ● エチレンアミン(EDC法)

- 高収率で生産可能なハイアミン中心の生産、価格重視の販売にて収益確保

<参考>エチレンアミンの事業環境(当社推定)



- 中国メーカー能力増強：2015年EO法設備  
中東メーカー新規計画：2016年EO法設備  
※EO法では一部のハイアミングレードが生産できない



ハイアミンの需給は大きく変化しないと予測  
EDC法の特長や競争力を活かした販売に特化

### ● 臭素・難燃剤

- 国内価格修正の実施
- 米国ケムチュラ社：新規臭素系ポリマー型難燃剤の  
販売権を取得(商品名: Emerald Innovation® 1000)  
環境面に対応したポリマー型の難燃剤

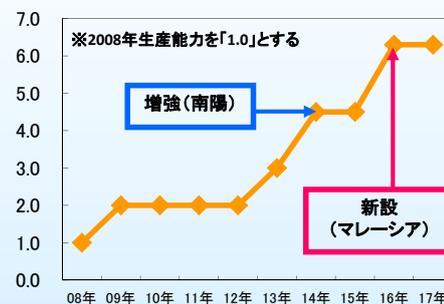


## 2015年度の主な取り組み

### ● ハイシリカゼオライト(HSZ®)

- 自動車排ガス浄化触媒、石化触媒向けの拡販
  - 生産能力増強に向けた取り組み
    - 南陽事業所増強設備  
2015年 4月商業生産開始
    - マレーシア新規設備  
2016年11月完工予定  
2017年半ば商業生産予定
- ➡ 生産能力：40%増(現有能力比)

ハイシリカゼオライトの生産能力推移



<商業生産開始に向けた取り組み>



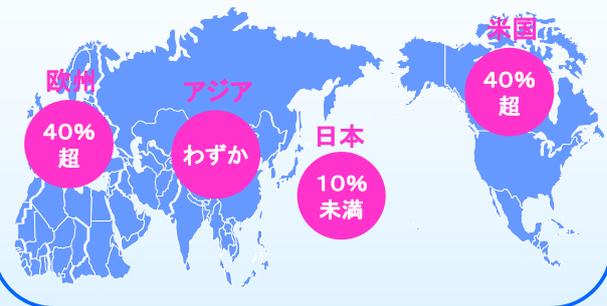
## 2015年度の主な取り組み

### ● ジルコニア

- 歯科材料用途、装飾品用途での拡販
- 生産能力増強に向けた取り組み
  - 南陽事業所  
2015年11月完工予定  
2016年 3月商業生産予定
  - 四日市事業所  
2016年10月完工予定  
2017年 4月商業生産予定

➡ 生産能力：30%増(現有能力比)

ジルコニア歯科材料普及率(当社推定)



### <商業生産開始に向けた取り組み>



## 新規製品の研究開発

## 重点領域

## 「ライフサイエンス」

## 「環境・エネルギー」

## 「電子材料」

### 無機材料研究所

- ・ 自動車用高機能ハイシリカゼオライトの開発
- ・ 歯科用ジルコニアの開発
- ・ リチウムイオン二次電池正極材向けマンガン系酸化物の開発

事業直結

### 高分子材料研究所

- ・ 各種ポリエチレンの開発(メディカル分野、超高分子量分野など)
- ・ 高性能クロロプレンゴムの開発、ペースト塩ビのグレード開発
- ・ PPS樹脂・石油樹脂の用途開発

### 有機材料研究所

- ・ ウレタン発泡触媒、環境薬剤などのアミン誘導体の開発
- ・ 有機ELディスプレイ用正孔輸送材／電子輸送材の開発

### ウレタン研究所

- ・ クッション材、断熱材などのウレタンフォームの開発
- ・ 塗料、接着剤などの機能性ウレタン製品の開発

### ライフサイエンス研究所

- ・ 抗体医薬品精製用高機能分離精製剤の開発
- ・ 早期がん検査技術の開発

中長期

### ファンクショナルポリマー研究所

- ・ 液晶ディスプレイ用高機能フィルム材料の開発
- ・ フレキシブルディスプレイ用耐熱樹脂基板材料の開発

### アドバンスマテリアル研究所

- ・ 液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットの開発
- ・ 次世代半導体配線用有機金属化合物の開発



